B30 飛越高原のアブ

渡辺 護 (富山県衛生研究所)

Ecological survey of tabanidflies in Hietsu highlands

Watanabe, M.

富山県と岐阜県の県境に“飛越高原”と呼ぶ標高 800~1400m のリゾート観光地域がある。演者は今までイヨシロオビアブの調査を標高 300~500m の‘多発地’を中心に行ってきた。その結果と思われるが富山県のアブ相は環境の豊かさに比べ、かなり貧弱に感じ、とくに、吸血性のアブが少ないことが気になっていた。

2000 年に中部山岳国立公園の薬師岳登山口の有峰湖において調査を行う機会があり、その際に吸血性でイヨシロと近似のアオコアブが採集され、この地域における調査の必要性を痛感した。2002 年に富山県側の調査を開始し、2003 年から岐阜県側の調査を開始した。その結果、富山県側では圧倒的にイヨシロが多数捕獲されたに対し、岐阜県側ではイヨシロが多い地域もみられたが、全般的に吸血性のニッポンシロフアブが多数を占めた。さらに吸血性大型種のアカウシアブ、ニセアカウシアブ、アカアブ、カトウアカアブ、ウシアブが多数捕獲された。

B31 野外採集チャバネゴキブリに対する各種ジェル食毒剤の効果について

○新庄 五朗, 佐久間 玲良(財) 日本環境衛生センター)

Efficacy of jelly baits against wild colonies of german cockroach

Shinjo, G., Sakuma, R.

近年、ゴキブリ防除法は主に食毒剤を用いた方法になっているが、使用されている食毒剤の効果に疑問の声が生じてきている。そこで、野外採集のチャバネゴキブリに対する各種食毒剤の効果を調べることにした。供試食毒剤は、建築物の害虫駆除専門業者用に市販されているジェル状の食毒剤である医薬品 2 種、不快害虫用 4 種、海外品 1 種の計 7 品目、及び、対照として医薬部外品 1 品目を用いた。供試虫は、東京都、神奈川県、千葉県、愛知県、大阪府、愛媛県、大分県など各地の建築物内厨房十数ヶ所から採取したチャバネゴキブリの累代飼育の雄成虫を用いた。プラスチック容器 (W15×L50×H14cm) に供試虫 20 匹を放ち、1 昼夜絶食させた後、24 時間食毒剤を与え、その致死効果を観察したところ、医薬品 2 種のいずれに対しても効果が乏しいコロニーが散見され、また、供試コロニーの全てに対して高い効果を示す食毒剤はみられなかった。